

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 災害現場におけるドローン活用能力向上事業

自治体名

福島県

消防団名

1 事業の目的

消防団においてドローンの高度な操縦技術を習得することにより、災害時におけるドローンの有効活用が可能となり、消防関係者の負担軽減や安全確保等が図られるとともに、迅速かつ適切な消防活動に寄与し、社会環境の変化に対応した消防団運営の普及・促進から地域防災力の向上を目指す。

2 事業内容

消防団員を対象にドローン操作講習会を契約期間内に4回実施する。また、災害等を想定した実践的な講習が可能で福島ロボットテストフィールドにおいて開催することで、災害現場におけるドローンの操縦技術を習得する。

・基礎講習 初心者を対象とした研修
15人×2回 = 30人

・実務講習 経験者を対象としたスキルアップ研修
15人×2回 = 30人

※各講習時間：座学2時間、実技3時間

3 事業成果

本講習会により、消防団員の航空ドローン操作能力向上や年々法改正が進む航空法への理解に寄与することができた。

ドローンを導入した消防団は、令和6年2月時点の調査で12団体と昨年に比べ2団体増加しており、徐々に理解が深まってきたと実感している一方で、未だ多くの消防団が導入に至っていないため、実際の災害現場で活用する機械が少ないことが課題である。

また、上記で述べたとおり、ドローン操作に関わる法改正が進み、要求される知識や手続きが煩雑になっていることから、高い技能をもった人材を育成するべきなどの意見もあり、本講習にどのように意見を反映させるか課題である。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
講習会参加者	人数	60人	51人	インフルエンザ等の感染症により参加を辞退した受講者が多くいた。不測の事態であり、所属消防団内で代理人の調整も出来なかったため、参加者数が目標に満たなかった。
講習会	回数	4回	4回	
ドローン導入消防団	消防団数	13	12	

5 その他参考情報

